

大阪市立大学 ラグビー部マガジン

Rugby

club magazine
2017

-CONTENTS-

主将インタビュー

新人紹介

学校紹介

ラグビー部紹介

就職状況

OB-Voice

特別企画

ついにプロジェクト始動！

人工芝

グラウンドへ！



大阪市立大学ラグビー部は
もうすぐ創部 100 年を迎えます。

OCURFC
SINCE 1920

2017 年 4 月発行
大阪市立大学ラグビー部マガジン
本誌へのご感想・ご意見を募集しています。
k10.tomod@gmail.com

2016年度成績：4勝5敗
関西Cリーグ6位

のリーグ最終戦

大阪市大 41-7 佛教大

泥まみれになりながらも4勝目を上げ
辛くも下部リーグとの入替戦を回避。

7位、7位、6位。これが過去3年間の成績であり、現状だ。10年にBリーグから降格。13年には一旦3位と健闘するも、再度苦しいシーズンが続いている。いつかは雨は止み、雲も晴れるだろう。しかし、そんな天命を待つ前に、やらねばならぬことがある。今、「奮闘」せよ。泥まみれでもいい。



ついに始動！関西公立大初の 人工芝へ

2020 年完成予定

Big News !!

しかしながら、文字通りに
泥まみれになれるのもあと数
年かも知れない。構想から7
年、ついに公式プロジェクト
の着手に至った。
夢の人工芝。完成までに、
その設備に恥じぬラグビー部
に成長したい。



※写真はイメージです



全天候型グラウンド整備プロジェクト



荒川学長より寄附金感謝状を受け取る
ラグビー部OBクラブ幹事長の吉田氏

体育会OBが尽力 活動を本格化

市大の体育会OB連合会「OCUSA（スポーツアソシエーション）」が主体となって大学側に打診、寄附金募集の公認を得た。部活動ではサッカー部やアメフト部なども利用するのに加え、授業でも利用することから幅広く寄附を呼び掛ける。人工芝グラウンドとウレタントラックを有する全天候型グラウンドは完成すれば関西公立大初の設備だ。
ラグビー部ではOBクラブ幹事長で、OCUSA副会長でもある吉田祐一氏（S62年卒）を中心に着工へ向けた活動を本格化させている。

主将

Interview

目標はBリーグ昇格

奮闘し続ける

戦い続ける

柏谷14勝5敗、Cリーグ6位。昨シーズン、「Bリーグ昇格」という目標を掲げましたが悔しい結果になってしまいました。

徹底した フィジカル強化

昨シーズンの悔しさは今シーズンで晴らします。今年の目標も市大の悲願である「Bリーグ昇格」です。目標を達成するためにまず取り組まなければいけないことはフィジカル強化です。Cリーグ上位チームと市大ラグビー部を比べると、やはりフィジカル能力の差があると感じています。上位チームに対して技術力・組織力の面ではあまり差を感じませんが、フィジカルの個の力に関しては勝負を挑めていないのが現状です。この差を埋めることができればCリーグ上位チームの撃破、そしてBリーグ昇格につながると考えています。市大ラグビー部全体でフィジカル強化に焦点を当てて一年間徹底していききたいと考えます。

泥臭くたっていい 目標に向かって突き進む

今年のスローガンは「STRUGGLE」です。直訳

CAPTAIN

2017年度 主将 柏谷豪太

(かしたに・ごうた)
179cm 84kg、WTB/FB
四条畷→経済学部（新4回生）



大学ラグビーの醍醐味は 今しか経験できない

市大ラグビー部にはチャレンジする環境が揃っています。目標に向かってチーム一丸となって一生懸命取り組み、勝利の喜びを皆で分かち合うことが学生スポーツの醍醐味であり、ラグビーにはその醍醐味が詰まっていると思います。しんどい、ハードなスポーツではありますが、市大ラグビー部があなたを成長させてくれます。良くも悪くも一生に一度しかない大学生活を充実させるカギはあなた自身です。ぜひ市大ラグビー部で充実した最高の日々を一緒に過ごしましょう。

は奮闘するという意味ですが、私たちはこの言葉に目標に向かって努力をやめない、戦い続けるという意味を込めました。試合で負けるくらいなら練習に一生懸命取り組むのはもちろん、練習外でもラグビーに時間を捧げるようにしたいと考えます。

チームスローガン
Struggle



ROOKIES (新2回生)

SAMURAI
市大の奇蹟の
原動力となれ

7

期待の
ポスト南ア世代



高梨 和也
(たかなし・かずや)
175cm 80kg、SO・CTB
都島工→工学部建築学科

小縣 真吉
(おがた・まさよし)
182cm 107kg、PR
鶯谷→法学部

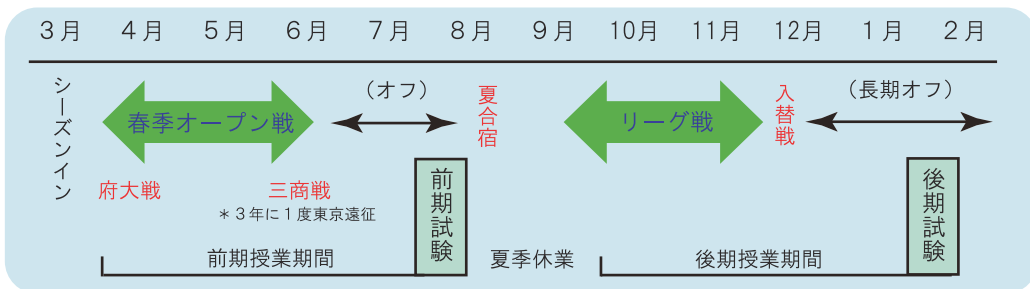
下川 哲郎
(しもかわ・てつろう)
172cm 72kg、SO・SH・WTB
四条畷→法学部

藤見 敏充
(ふじみ・としみつ)
173cm 89kg、PR・HO
千里→法学部

新留 海
(しんとめ・かい)
172cm 84kg、FL・No.8
北野→経済学部

木島 溪
(きじま・けい)
162cm 66kg、WTB
六甲→経済学部

山口 浩輝
(やまぐち・ひろき)
176cm 83kg、CTB
千里→工学部バイオ



活動は基本的に週5回行っている。平日の練習は4限後の16時半からで、土曜日は9時半からだ。日曜日は試合が組まれることが多い。授業やバイトで忙しい学生ばかりなので、全体練習は2時間を目標にしている。常に試合につながる課題を意識して、頭を使って濃密で効率的な練習になるように心がけている。

夏の間は、活動のペースはそのまま、毎回午前中に練習をしている。午後は十分な時間があるのでアルバイトや資格の勉強なども可能だ。

練習時間

ラグビー部の1年は3月に始まる。6月には旧商大(市大、神戸、一橋)間で行われる三商戦という定期戦がある。8月には長野の菅平高原での合宿を行い、メインの大会であるリーグ戦に臨む。各定期試験の前はオフで、夏は海へ入ったり、3ヶ月間の冬の長期オフでは海外旅行も可能だ。充実した1年になることは間違いない。

年間スケジュール

え、ウエイトルームも十分なものがあ。この辺りは私立の強豪には敵わないが、強くなるために必要な設備が市大には揃っている。



大学の授業の仕組み

同じ学部、同じ学科でも受ける授業はひとりひとり異なる。卒業までに取得しなければいけない単位が、専門科目、一般教養、語学などと分かれていて、それぞれの条件を満たしていくことになる。たくさん選択科目が用意されていて、その中から自分の趣向で授業を選ぶから、時間割は自分オリジナルのものになる。だから、ある曜日に授業を固めて、他の日は休みなんてことも可能だ。

出席をとらない授業があるのも大学の特徴。単位の認定は、筆記試験だったり、レポートの提出だったりする。だからと言ってサボったり、時間割を友達任せにしているのはダメだ。きちんと管理しながら、卒業前に大変なことになる。時間の使い方にはラグビー部の部員も気を使っている。忙しくなればなるほど、無駄な時間が減って充実してくる。その中にメリハリをつけて、勉強に部活動にバイトにと、うまく両立できるように心がけている。

OSAKA CITY UNIVERSITY RUGBY FOOTBALL CLUB 大阪市立大学ラグビー部

創部 ▶ 1920年



充実の設備

市大ラグビー部の設備は充実している。なんと言ってもクラブハウスの存在が大きい。他の部がグラウンドから離れた部屋棟に部室を構える一方で、ラグビー部のクラブハウスはグラウンドに隣接している。しかも、室内にシャワールームを完備し、洗濯もできる。2階はミーティングルームになっていて、その日の練習をすぐにチェックしたり、試合のビデオを見ることが可能だ。

グラウンドは芝ではないが、ナイター設備を備

創部97年の伝統

明治から大正にかけて創部された東の慶応、早稲田、東京、西の京都、同志社と時を同じくして、大正9年、大阪市立大学ラグビー部は創部した。

横断幕に掲げられた「チャレンジ」の精神を受け継ぎ、どんな逆境に陥ろうとも貪欲に勝利を追及してきた。歴史あるOBクラブは、そのような学生の主体性を重んじ、資金面ではクラブハウスの建設など多大な支援を行っている。

専用クラブハウス!!



大学ラグビーとは…？

スバリ！

「リーグ戦」

秋のリーグ戦で
上位昇格を目指す！

高校までの大会は負けたら終わりの
トーナメント方式が多い。対戦相手も抽
選で決まるため毎年どこと対戦するか
はつきりしない。

一方で大学ラグビーの主たる大会は秋
から冬にかけて行われるリーグ戦だ。各
大学、自らの大学の誇りを賭け長期に渡
る戦いに挑む。対戦相手は春の段階から
分かっているから、そこに向けた調整が
行われる。去年負けた相手に雪辱を晴ら
すなどの多くのドラマが展開される。
そして、ハイレイトはリーグ戦の後に
行われる入替戦。上位リーグの称号、次
のステージでの戦いを獲得するために全

身全霊を尽くす。この最後の一戦はたと
え当事者でなくても見る者の心を動かす。
大学ラグビーという早慶や大学選手
権が有名だが、レベルの差はあれど、全
国各地でラグビーを愛する学生による熱
いリーグ戦が繰り広げられている。

京都大学 初のCリーグ降格

関西で文武両道を志すラグーマンに
とっての16年の一大ニュースは天理大の
躍進でも帝京大の8連覇でもなく、京都
大学のCリーグ降格だろう。

関西国立の雄として、勉強だけでなく
ラグビーでも長く活躍を見せていた京都
大学だったが、大阪学院大との入替戦に
敗れ、創部以来初となるCリーグへの降
格となった。入試の困難さ故の部員確保
の難しさについては、早くから天然芝グ
ラウンドの整備や高校生イベントの開催
など、様々な活動、情報発信を行って
おり、近年特に部員が減ったというよう
な印象もなかったため驚きだった。

強靱なOB会の力、そして何より学生
のひたむきさによってきつと凄まじい復
活劇を見せてくれることと思う。市大は
逆に学ばせてもらうところが多々あるか
もしれない。何はともあれ、秋には伝説
校同士の一戦となる。熱戦を期待したい。

トップリーグ
クラブ選手権

日本選手権

大学選手権

帝京大
前人未到の
8連覇！！

関西大学リーグ

Aリーグ

花園プレーヤーも多数！
強豪私学がひしめく！上位は選手権へ。

- 1位 天理大
- 2位 同志社大
- 3位 京都産業大
- …
- 関西学院大、関西大、etc.

Bリーグ

Aリーグ昇格を目指す中堅私学に
推薦のない国公立が戦いを挑む！

- 1位 大阪体育大
- 2位 龍谷大
- …
- 5位 大阪教育大
- 6位 神戸大
- 7位 大阪大
- 9位 京都大

Cリーグ

Bリーグとの入替えがめまぐるしい。
国公立にとっては下部的存在。

- 1位 大阪学院大
- 2位 追手門大
- …
- 4位 大阪府立大
- 6位 大阪市立大

市大は今ココ！！

Dリーグ

より細かな地域ごとに設置された
D1～D4のリーグに24の大学が所属。

- 京都工芸繊維大
- 兵庫県立大
- 神戸大医学部 etc.

関東大学 リーグ

1部リーグ

- 1位 東海大学
- 2位 流通経済大
- 3位 関東学院大
- …

2部リーグ

- 大東文化大
- 山梨学院大 etc.

全6部

関東大学 対抗戦

Aリーグ

早稲田、慶応、明治・・・
いわずと知れた大学ラグビーのメッカ
現在はBリーグの東京大学は2002年まで
Aリーグに所属していた。

- 1位 帝京大
- 2位 明治大学
- 3位 早稲田大学
- … 筑波大、慶応大 etc.

Bリーグ

- 東京大
- 一橋大 etc.

このほかにも、北海道、東北、北陸、東海、
中国・四国、九州の各地で大学生による
リーグ戦が行われている。
また、医・歯・薬学部でもラグビーは盛んで
独自の大会が行われる。

※記載順位は17年リーグ戦のもの
※日本選手権の大学枠は18年より撤廃予定

特別企画―本文著者の私ですらもうなのだから今の大学生が平尾の選手時代、監督時代など知る由もない。だからこそ敢えて記したい。

平尾が築いた 日本のラグビー

「ボールを持った選手の判断で動いてもいいじゃないか。そのプレーに皆がついて行くことのほうが、決め事の中でプレーするよりも大切なんじゃないのか」神戸製鋼で、日本代表で、平尾はしきりに主張したという。同志社大学で自由をモットーにしたラグビーを学び、英国留学で心からラグビーを楽しむことを学んだ平尾だからこそその思いがあった。

しかし、セオリーや集団としての動きが重要視されていた当時の日本ラグビーにとってそれは奇抜な発想だった。そのような考えをメンバーに浸透させるのは容易ではなかったはずだ。しかし、既存の概念に捕らわれず自由に考え、集団としてのプレースタイルをも変革していく、それができた男こそ平尾なのである。

理不尽さは 全てが悪ではない

平尾は理不尽さと自由さの両方を理解していた。高校時代、監督から課せられ

孤高 追い求めた 理想のラグビー

我々が受け継ぐべき想い

平尾誠二（享年 53 歳）

京都市南区出身
伏見工業高→同志社大→英国留学→神戸製鋼
元日本代表主将・監督
神戸製鋼コベルコスティーラーズ総監督兼GM
ワールドカップ日本大会アンバサダー

た練習は厳しく、最初は嫌だったと言う。しかし、それが自分の身になっていくと分かってからは、自ら率先して厳しい練習を課した。指導者になってからも、明らかな基礎能力の不足があるときは、反復的な練習を徹底させた。ただし、選手にはそれをやるのが目標への近道だときちんと説明した。スポーツにおける人間性の大切さを当時から重視していたのだ。

世界への 妥協なき挑戦

97年、平尾が35歳という若さで日本代表の監督に就任したとき、最初に取り組んだのは基礎技術、基礎体力の向上だった。「短い期間で結果を残そうとすると、ついつい戦略にこだわろうとする。しかし戦略は分析されれば2度目は通用しない小手先の技術。真に強くなるためには、全員が世界レベルの基礎技術を身に着け、プレーの精度を高めなければならない」。

終わりなき ラグビー探求

基礎技術の次に平尾が課題としたのが、チームとしてのゲームの理解力の乏しき、その選手間の差だった。変革をもたらせるため、代表で初めての外国人主将を採用し、若手も多く起用した。厳しい反復練習の中で、共通認識を養成し、「二糸乱れぬ動き」を日本の武器にしようとした。しかし、99年のW杯は全敗に終わってしまう。

その後、平尾は監督を辞するが、日本にとって真に理想のラグビーとは何なのか探し続けた。彼にとってその答えは唯一ではなく、常により高い理想と、理想と現実の差を埋める方法を考え続けていたのだと思う。

19年W杯の成功、日本ラグビーのさらなる発展を夢見た道半ばの逝去。我々は彼が描いた理想のラグビーを実現できるだろうか。

2011 年度主将

伊藤 紘平



卒業後も仕事とラグビーを両立し、全国レベルで活躍する先輩がいる。2016年、九州クラブチームの最高峰、トップクラブリーグを制した北九州の雄、福岡かぶと虫クラブ。伊藤はプロップとして全試合に先発出場、続く全国クラブラグビー大会でも各地域の代表相手に体をぶつけ、全国ベスト8のチームに貢献した。なぜ社会人になってもラグビーを続けるのか。その答えは大学ラグビーの中にあった。

今後の何十年もある人生の中で 一生の友達や先輩後輩を見つけられる。

ら下は高校生まで、色々な年齢層の方たちと、知り合うことができました。またクラブチームには色々な職業の方が参加しています。そういった方々と知り合えることで、仕事で行き詰まった時や、人間関係で困った時に色々と助けていただきました。そういった意味で、社会人になった後も、ラグビーを続けることは決して無駄にはならないと思います。

大学ラグビーの 本当の価値

私にとって、大学時代にラグビーをしていて一番良かったと思うことは、今、社会人ラグビーで色々な方と知り合ったことと同じように、たくさんの先輩、同期、後輩に出会えたこと、卒業してからずっと続く人間関係を作れたことです。

高校生、あるいは新入生の皆さんは、大学生になることで今までもよりも自由な時間や選択肢をたくさん持てるようになると思います。皆さんそれぞれが将来やりたいことをこれから四年間の大学生活で見つけていくことだと思います。その中でラグビーをわざわざ選ぶことに抵抗がある方もいるかもしれません。ですが、ラグビーをするということは、ただ体を動かすということだけではなく、今後の何十年もある人生の中で一生の友達や先輩後輩を見つけれられるということでもあると私は考えています。本気でぶつかり合い、本気で話し合い、共に1つの目標に向かって進んでいく。そんなかけがえのない時間を共につくっていきませんか。

自分に厳しく 今も変わらない姿勢

伊藤「学生時代、とにかく体作りには力を入れました。二回生の時、他の部の人と一緒にトレーニングをする機会があり、今までの自分のトレーニングが自己満足だったことを痛感。そこから種目と強度を増やして行きました。『プロップだから足が遅くても良い』とは思っていませんでしたので、練習では短距離のスピードをずっと意識していました。

なぜ今もラグビーを続けるのか。それはひとえにまだまだ上を目指せると思っているからです。学生時代、部員不足で十分な練習ができず、結果的にも思うように行かず、悔しい思いをしました。今はクラブチームなのでトレーニングに割ける時間はさらに限られてしまっていますが、そのような状況でもどのように練習して勝つていくのか、学生時代の悔しい思いをまた味わうことのないように、一つでも多く勝てるように、

他のスポーツにはない ラグビーの持つ力

今はそんなラグビーを楽しんでいます。そして、体作りも含め、自分の中で納得が行くまでは上を目指して続けていくつもりです。

今、仕事では住宅設備メーカーで営業をしていますが、ラグビーをしていたという実績はどの業界でも活かせる武器だと感じています。ラグビーをしていない人でもラグビーの精神のイメージは持たれていますし、ラグビーをしていた人はなおさら、そこから人間関係の構築や仕事のつながりを作れていると感じています。

社会人でもラグビーを続けることのメリットの一つに、色々な年齢、職業の人と知り合えるということがあります。特に私は九州という緑もゆかりもない土地に赴任し、初めは知り合いも居ませんでした。クラブチームに入り、上は60代か

まだまだ 上を目指す。



伊藤 紘平 (いとう こうへい) 174cm 106kg プロップ
住吉高校→文学部 2012 年卒 → 住宅設備メーカー勤務

大学卒業後の 進路

卒部生の主な進路

商社（伊藤忠商事、三菱商事、三井物産、etc）
金融（日本銀行、三井住友銀行、etc）
エネルギー（関西電力、大阪ガス、etc）
メーカー（トヨタ自動車、旭硝子、etc）
メディア（毎日放送、J-COM）
不動産（三井不動産レジデンシャル、etc）
交通（京阪電鉄）
ゼネコン（大林組）
進学（理系大学院、法科大学院）
その他（JICA、日本IBM、大阪府警、大学教授、
医者、パイロット、etc）

就職活動とは？

ところで、「就活」とは何か。簡単に説明しておこう。
卒業後は企業で働きたいと考えたとき、入試のような仕組みがあるわけではない。無数にある企業から、興味のある企業を探し出し、入社の意思を伝え、試験を受けさせてもらう。実際はもっと複雑だが、とにかく一人で動くことになる。
では、選ぶ立場になって考えてみよう。就活ができるだけの社会人としての基礎能力を備えていることはもちろんのこと、学生時代の頑張りや気になる。それは、入社後の頑張りなり、考え方に反映されるからだ。
もちろん、体育会に所属していただけで就職がうまくいくほど世の中甘くない。時には反発もしながら、勝利のためにチームメイトと共に考え、行動することを通して、魅力ある人間に成長しなくてはならない。

そして、ビジョンとして持っておきたいのが卒業後の進路だ。大学入学はゴールではなく新しいスタート、とはよく言われること。
4年後の選択肢としては、進学か就職に分かれるが、資格取得や大学院進学を考えた場合であっても、その先の就職については気になるはずだ。ここでは、市大ラグビー部の就職状況を紹介したい。
結論から述べると、市大ラグビー部の就職状況は非常に良い。左に卒部生の主な就職先をまとめた。文系の総合職、理系の技術職ともに有名企業が名を連ねており、幅広い分野で活躍していることが分かる。

この理由は3つある。まず、市大自体の評価が高い。次に、一般的にラグビー部の評価がとても高い。そして最後に、市大ラグビー部OBのサポートがしっかりしているからだ。
就職ではいろいろ迷うもの。そんなときに相談にのってくれるOBがたくさんいるのも、市大ラグビー部の魅力のひとつだ。

大阪市立大学は、市立の大学で最も歴史が古く、公立大学として最も規模が大きい大学です。
8学部を設置する総合大学であり、幅広い分野で学習することができます。

市大8学部の紹介

商学部：経営・生産・消費
経済学部：経済・財政・金融
法学部：憲法・民法・刑法
文学部：文化・社会・哲学
理学部：数学・物理・化学
工学部：機械・電気・建築
医学部：医学・看護
生活科学部：栄養・居住・福祉

*ここに上げたキーワードはほんの一部だし、抽象的な言葉だ。それに理学部や工学部はさらに複数の学科に分かれる。また、農学部や薬学部、教育学部、体育学部など市大にない学部もある。

正直なところ、大学選びは成績依存度が大きい。特別な場合を除いて、東大に入れる実力があるのに、わざわざ他の大学に行く必要はないということだ。
一方で、学部は自由に選べる。将来の仕事に直結しないにしても、人生で大きな舵を切ることに違いはない。だから、少なくともこの学部でどんな勉強をするのかは知っておきたい。
独断と偏見で、市大8学部のキーワードを挙げてみた。気になる学部があったらとにかくインターネットでも何でもいいから調べてみよう。どんな勉強をするのか、卒業後はどんな道があるのか。大学への第一歩、今日踏み出せるなら、今日踏み出そう。

入試情報



アスリートたちの栄光は
優秀なスタッフに支えられている

チームスタッフ



市大復活を支える キーファンクション

3年前からマネージャーという名称をチームスタッフに改めました。チームスタッフの仕事は選手の手当てやトレーニング、練習や試合中の水分補給などの直接的なサポートだけではなく、筋肉やフィットネス、体重の管理や、会計、ホームページの更新など、チームの運営に深く関わっています。決して目立つ仕事ではありませんが、選手の「ありがとう」の一言が私たちの原動力です。

フィジカル管理

ビッグスリーと呼ばれるベンチプレス、スクワット、デッドリフトの最大筋力値と体重を毎月測定。それをデータ化、グラフ化することによって選手の意識付けを行って、フィジカルの向上に繋がっています。ラグビーでは体重は重い方が有利な場合が多いですが、ポジションによって求められる体重が異なるので、一人ひとりに合わせて適切なアドバイスも行っています。

心肺系では3000m走をひとつの指標としタイムを測定しています。一人だとしんどいフィットネス練習も、他の選

日本代表にも負けない きめ細かいマネジメント



手や過去の自分のタイムと比較することでモチベーションの向上に繋がっています。

個性を活かして チームに貢献

ラグビーは好きだけど大きな怪我を抱えていてプレーできないという経験者、体作りやスポーツの分析に興味があるという人、ラグビーW杯で日本代表が大活躍していた姿を見て、ラグビーに興味を持った人、もちろん今まで通り、試合には出られないけど男同士の真剣勝負を一番近くでサポートしたいという女性の方も大歓迎です。市大ラグビー部の今後の変身にはあなたの力が必要です。是非私たちと一緒に強いチームを作りましょう。

よくある質問

FAQ

勉強×部活×バイト×遊び
学生生活を楽しもう！！

Q.1 上下関係が厳しそうな イメージなんですけど…

ラグビー部というと確かにそういうイメージをもってしまいかも知れないが、まったくもって厳しくない。もちろん、先輩後輩の関係はあるが、それは互いの信頼関係であって、練習時には共に頑張る仲間という意識が強い。学年に関係なく飲みに行ったりするし、夏には海や山に旅行に行ったりもする。どんな雰囲気ของทีมかは見ればすぐに分かる。一度、グラウンドに足を運んで、自分の目で確かめて欲しい。

Q.2 アルバイトは できますか？

もちろん余裕でできる。ただし、毎月15万円とか20万円とか稼ぐのは少し難しい。でも、アルバイトだけの生活に満足できるだろうか。部活動をしていても、きちんと時間管理をすれば、5〜10万円はコンスタントに稼げる。

Q.3 留年はしたくないん ですけど…

ラグビー部の留年率は学校全体の平均よりもはるかに低い。それに、部活動を頑張れるなら勉強の心配はいらない。そんなことよりも、成績オールAを目指そう。ラグビー部で、かつ成績優秀。目指すべき姿はそこにある。

Q.4 大学ではいろいろ 遊びたいんですけど…

大いに遊ぼう。では何をしよう？ もしかしてそれはラグビーをしなげらでもできることではないだろうか。それに4年間ラグビーを継続して得られる感動は、どんな遊びよりも心に残る。

Q.5 就職活動に有利って ホントですか？

ベネッセ教育研究センターというところが行った「企業が採用時に要件として重視する能力」という企業調査の結果を示す。

チームワーク力	92.5%
自己管理能力	86.9%
リーダーシップ力	80.8%
継続力	79.7%
：	
情報処理スキル	35.6%
：	
英語のプレゼン力	5.9%
英語の討議力	3.9%

企業が情報処理の能力や英語力が必須なと言っているのではない。これらの能力を入社後にも継続的に伸ばしてもらいために、自己管理や継続の力が必要だと言っているのだ。これこそが体育会が就職に強い理由である。

青年へ

ラグビーとは、少年を一人前の男にし、
一人前の男にいつまでも少年の心を忘れさせない
スポーツである。

大学ではまさにその両方を味わうことができる。

われわれもまた、時にそんな少年の一人であり、
一人前の男になるべく日々練習に励んでいる。

ここ数年苦しいシーズンが続いている。
でも今年こそ、必ずや成果を出してみせる。

そんなとき、

あと一人、あともう一人、

共に戦ってくれる仲間がいたらどれだけ心強いかな。

大切な4年間。

もちろん、やるべきことはたくさんある。

でもラグビーには、その4年間の情熱を
注ぎ込むだけの価値がある。

少年が青年に、そして一人前の男に。
何を通して成長するのか。

君の選択がラグビーであるとうれしい。

監修 友田桂樹（H21年卒）

製作 大阪市立大学OBラグビークラブ
印刷・製本 (株)日本プリンティング

